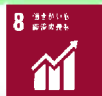




## 4. S D G s 活動実績②

### ・HTファクトリーツアー



HTファクトリーツアーを2022年3月24日に第1回、5月27日に第2回、7月20日に第3回目を開催しました。入社以来、『自分の仕事場しかハウテックのことを知らない』『他の部署がどんな仕事をしているのかもっと知りたい』そんな声に耳を傾けてみました。普段見ることのない社長室や、テクニカルラボ等を見学でき、ハウテックはどんな部署があってどんな仕事をしているか知る良い機会になったと参加者の皆さんから感想をいただきました。また、参加者が自分の所属する部署の紹介を行うことで、自部署のプレゼンを兼ねることができたため自己研鑽にもつながり、大変良いツアーになったと思います。

今後も継続して開催していきますので、ぜひご参加ください！

# 5. SBT 認証取得

## 【SBTとは】

Science Based Targets (科学的根拠に基づく目標) の頭文字を取ったもので、パリ協定が求める水準と整合した5~15年先を目標年として企業が設定する温室効果ガス (GHG) 排出削減目標。※GHGのうちCO2がほとんどを占める。

## 【スコープ1・2・3とは】

スコープ1・・・事業者自らによる温室効果ガスの直接排出

スコープ2・・・他社から供給された電気、熱、蒸気の使用に伴う間接排出

スコープ3・・・スコープ1・2以外の間接排出

## 【ハウテックの脱炭素社会に向けた基本的な考え】

- ・ 中小企業向けSBT認証に向け削減目標を掲げ、具体的な削減に向けた取り組みを提案、実施する。目標レベルは1.5℃とする。  
(SBT認証については右表参照)
- ・ サプライチェーン全体から排出されるCO2を把握し、その中で削減すべき対象を明確にした上でより効率的な削減活動につなげる。

- ・ 2022年4月にSBT (SME) の認証を取得しました。

国内では181番目の取得となります。

SBT公式プラットフォーム→ <https://sciencebasedtargets.org/>

当社は前述の諸活動を継続しつつ、化石燃料由来のエネルギー使用量を削減していくことで社会的責任を果たします。



	中小企業向けSBT	通常のSBT
<b>対象</b>	以下を満たす企業 ・従業員500人未満・非子会社・独立系企業	特になし
<b>目標年</b>	2030年	公式申請年から、 5年以上先、15年以内の任意年
<b>基準年</b>	2018年	最新のデータが得られる年での設定を推奨
<b>削減対象範囲</b>	Scope1,2排出量	Scope1,2,3排出量 但し、Scope3がScope1~3の合計の40%を超えない場合には、Scope3目標設定の必要は無し
<b>目標レベル</b>	以下の2つのオプションから選択 ■ Well below 2℃ Scope1,2を30%削減、Scope3を算定・削減 ■ 1.5℃ Scope1,2を50%削減、Scope3を算定・削減	下記水準を超える削減目標を任意に設定 ■ Well below 2℃ (必須) 少なくとも年2.5%削減 ■ 1.5℃ (推奨) 少なくとも年4.2%削減
<b>費用</b>	1回USD1,000(外税)	目標妥当性確認サービスはUSD4,950(外税) (最大2回の目標評価を受けられる) 以降の目標再提出は、1回USD2,490(外税)
<b>承認までのプロセス</b>	目標提出後、自動的に承認され、SBTi Webサイトに掲載	目標提出後、事務局による審査 (最大30営業日) が行われる 事務局からの質問が送られる場合もある

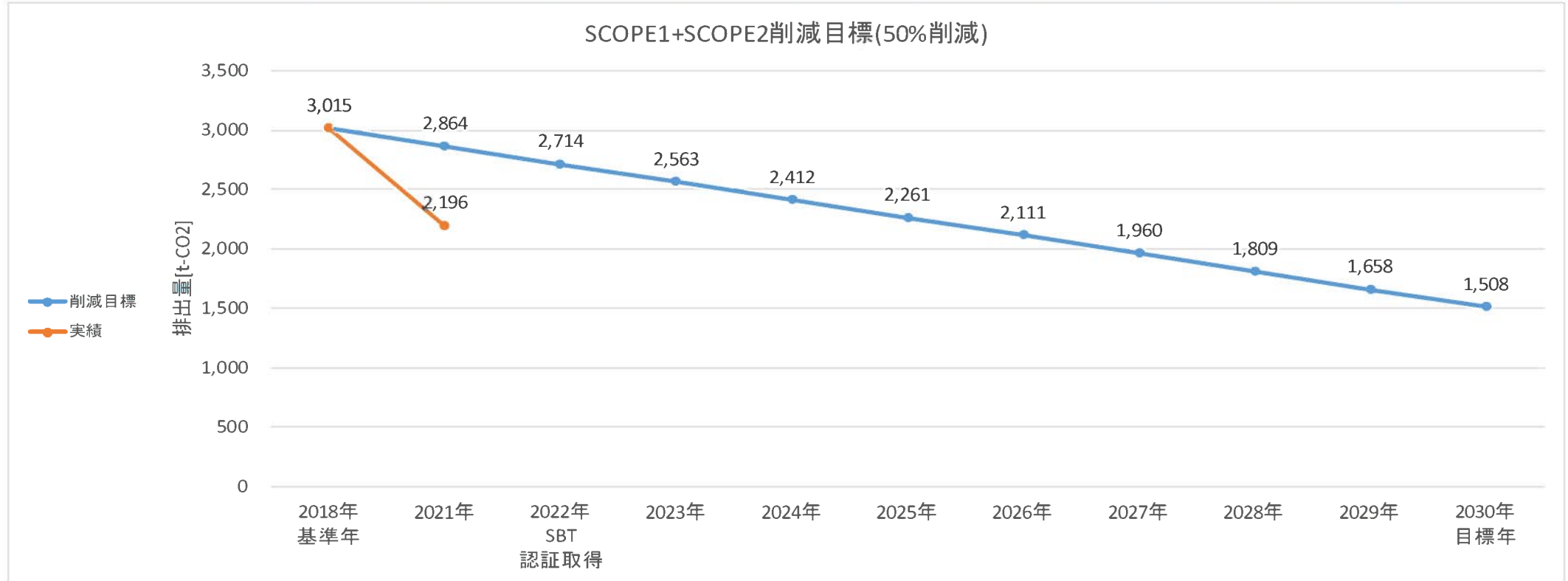


SCIENCE  
BASED  
TARGETS

DRIVING AMBITIOUS CORPORATE CLIMATE ACTION

# 6. サプライチェーン排出量削減目標と実績報告

削減目標	2018年 基準年	2021年	2022年 SBT 認証取得	2023年	2024年	2025年	2026年	2027年	2028年	2029年	2030年 目標年
スコープ1+スコープ2	3,015	2,864	2,714	2,563	2,412	2,261	2,111	1,960	1,809	1,658	1,508



項目		単位	2018年 実績	2021年 実績	削減率	結果	
CO2排出量	スコープ1	主に使用した燃料に伴うCO2排出量	t-CO2	157	148	-	◎
	スコープ2	導入した電力と熱に伴うCO2排出量	t-CO2	2,858	2,048	-	
	スコープ1、2合計		t-CO2	3,015	2,196	27%	

### 【算出基準】

- ・環境省公表のサプライチェーン算出マニュアルを基に算出。
- ・スコープ1は主に使用した燃料からのCO2排出量。  
ハウテックで該当するものはガソリン、軽油、A重油、灯油、LPGのみ。「地球温暖化対策の推進に関する法律」に基づく単位発熱量とCO2排出係数を使用。  
ガソリン、軽油、A重油、灯油は各工場の使用量 [kℓ] × CO2排出係数 [t-CO2/kℓ]、LPGは各工場の使用量 [t] × CO2排出係数 [t-CO2/t]
- ・スコープ2は導入した電力と熱に伴うCO2排出量。全事業所の使用電力 [MWh] × その年の環境省・経済産業省公表の電気事業者別排出係数 [t-CO2/MWh]

# 7. 環境データ

## ■65期 事業活動における環境負荷

項目		単位	65期実績	備考
エネルギー	CO2排出量	t-CO2	2,196	スコープ1+スコープ2
廃棄物		t	1,441	本社、関東、静岡工場
内訳	燃え殻	t	25	埋立て処理
	廃プラ	t	64	5%埋立て処理・95%熱源利用
	RPF	t	35	熱源利用
	木くず	t	111	熱源利用
	紙・ダンボール	t	56	有価売却・再利用
	鉄くず	t	56	有価売却・再利用
	破砕チップ	t	540	有価売却・熱源利用
	ボイラー投入木材	t	547	自社で熱源利用
	廃液	t	8	埋立て処理・熱源利用
その他	t	0	埋立て処理・熱源利用	

## ■その他環境データ

項目		単位	65期実績
エネルギー 使用量	電力	MWh	4,598
	ガソリン	kℓ	8
	軽油	kℓ	18
	A重油	kℓ	5
	灯油	kℓ	5
	LPG	t	24
コピー用紙使用量		kg	12,657
水使用量	上水道	kg	1,154
	地下水	kg	11,042
排水量	下水道	kℓ	3
	河川	kℓ	197

## ■リサイクル率

項目		単位	65期実績
内訳	非リサイクル廃棄物	t	32
	リサイクル廃棄物	t	1,409
産業廃棄物リサイクル率			98%

## ISO14001認証取得



静岡工場 太陽光発電



## ■静岡工場 太陽光発電

内容	単位	64期実績
太陽光発電 発電量	kwh	132,904
電力使用量(静岡工場)	kwh	321,685
使用量に対する太陽光発電量割合		41%

## 【環境に関する取り組み】

ハウテックでは本社工場、関東工場で環境マネジメントシステムの国際規格であるISO14001を取得しています。製品を製造し、お客様に提供するまでに資源やエネルギーの消費、産業廃棄物の発生やCO2排出など環境に負荷を与えています。環境に関する方針や目標を設定し、実績を取りまとめることで事業活動における環境負荷を把握し、持続可能な地球環境のために省エネ活動および廃棄物の分別や削減などの環境保全活動を推進していきます。

# 8. 社会データ

## 1. 従業員数

	2018年	2020年	2022年
男性	401名(81.5%)	380名(78.5%)	373名(79.0%)
女性	91名(18.5%)	104名(21.5%)	99名(21.0%)

## 2. 平均年齢

	2018年	2020年	2022年
男性	43.0歳	43.1歳	44.3歳
女性	41.6歳	39.2歳	40.3歳

## 3. 障がい者雇用状況

	2018年	2020年	2022年
雇用者数	10名	10名	12名

## 4. 育児休業制度利用状況

	2018年	2020年	2022年
利用者数	5名	2名	6名

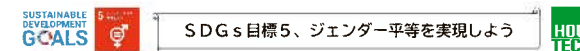
## 5. 社会貢献

	西日本豪雨義援金	令和2年7月豪雨義援金	ウクライナ人道危機救援金
寄付金額	138,872円	300,000円	200,000円



### 【女性社員向けアンケート】

SDGs委員会では「5.ジェンダー平等」「8.働きがい」というテーマについて、女性社員が働きやすく、働きがいのある会社になるよう今まで以上に会社全体を巻き込み取り組んでいこうと考えています。  
 本当に働きやすいのか、もっと輝けるためにどのような事が必要なのかアンケート調査し、総務部・管理職へ発信しました。  
 今回は女性社員に対して行いましたが、今後社員の満足度（しあわせ度）をもっと上げていける取り組みを行っていきたいと思っています。  
 ハウテックが今以上に魅力的な会社になるよう皆さんの協力が必要となりますので、よろしくお願い致します。



日本のジェンダーの平等は怎么样了？

男女の格差を比べた2021年の「ジェンダーギャップ指数」によると、日本は156カ国中120位※1。  
 この順位が教えてくれるのは、社会の中で男性、女性が平等であるために、日本の社会が解決していかなくてはならない問題がまだまだたくさんあるということです。

〈キーワード〉  
 ジェンダー …社会的・文化的に形成された性別のこと  
 LGBTO …生まれつきの性別ではなく、カラダと心の性別が違う人や恋愛対象が同じ性別の人だったりする人などのこと  
 シズジアン、ダイ、バイセクシャル、トランスジェンダー、クエスティング、クィアに分けられます

ジェンダーギャップ指数…経済・政治・教育・雇用の分野で男女の格差を比べたもの

わたしたちにできることは？

ジェンダーの平等を実現するという点では、世界から見ても遅れている日本。そのひとつの例として保育問題を考えてみましょう。  
 女性が育児をしながら安心して働き続けるために、子どもを預ける保育園は欠かせません。  
 しかし、結婚・出産後も働く女性が残っているのに、保育所の数が圧倒的に足りず、大きな社会問題になっています。  
 これも、女性が社会で活躍するのを妨げています。

ハウテックでも『ジェンダー平等を実現しよう』という目標に取り組むための活動をしています。  
 まずは皆様の意見をアンケートで聞き、その意見をもとに活動をしていきたいと思っていますので、ご協力をお願いします。



SDGs委員会